

刺咬症手当

刺咬に関する内容の聴取

通報者が極度に焦燥し冷静さを失っていること等により対応できない場合は口頭指導を中止する

「救急車はもう出動させています」（落ち着いてください）
「応急手当をお願いしたいのですができますか？」

※何に刺され(かまれ)たのか原因をしっかりと聴取する

「何に刺され(咬まれ)ましたか？」

犬・猫
ねずみなど
哺乳類

蛇・トカゲなど
爬虫類

蜂・あり・サソリなど
節足動物または昆虫

感染防止と準備物

「ビニール袋またはゴム手袋とハンカチ又はタオルを用意して下さい」
※清潔なハンカチやタオル
「できるだけ、血液に触れないようにして下さい」

「マムシですか？」
傷は二か所ありますか？」
※ はいの場合
⇒「傷口より上側を軽くタオルなどで縛ってください」
「救急車が到着するまでお願いします」
※ いいえの場合
⇒「安静にしてください」
※ 意識(反応)がなくなった場合はすぐに知らせるように指示する

「しびれ感」「違和感」
「口唇の浮腫」「気分不快」
「吐き気」「嘔吐」「腹痛」
「じんましん」「咳こむ」
の症状はありますか？
※ ある場合 ⇒ ◆エピペンへ
※ ない場合
⇒「安静にしてください」
※ 意識(反応)がなくなった場合はすぐに知らせるように指示する

直接圧迫止血

「ハンカチまたはタオルを重ねて出血している場所に当てて強く押さえて救急車が到着するまでお願いします」
「意識(反応)がなくなった場合は、また連絡お願いします」
※ ハンカチ又はタオルから血液が染み出してくる場合は、圧迫位置が出血部位から外れている、または、圧迫する力が弱いなどが考えられる
※ 細いひもや針金で出血している手足を縛る方法は、血管や神経を痛める危険性があるので指導しない

※ 遠距離の場合には、家族や知人に自動車に乗せてもらえる場合、救急車と途中で合流することも考える